This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

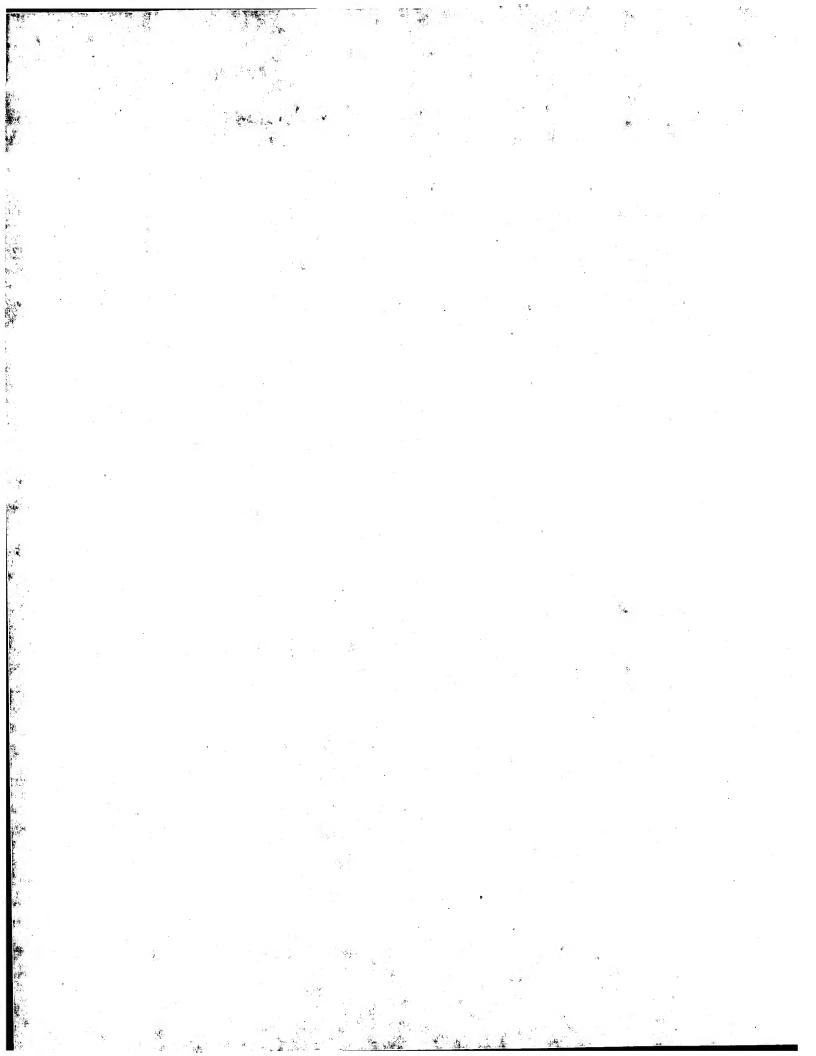
Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.



Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

03266740

PUBLICATION DATE

27-11-91

APPLICATION DATE

16-03-90

APPLICATION NUMBER

02065840

APPLICANT: TOSHIBA AVE CORP;

INVENTOR:

KASAMI HIROYUKI:

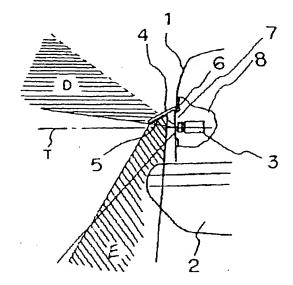
INT.CL.

B60R 1/00 G03B 15/00

TITLE

REAR VIEW CONFIRMING CAMERA

LOADED ON CAR



ABSTRACT:

PURPOSE: To enlarge the rear field of view, to prevent deterioration of running performance and to prevent burglary by disposing a rear confirming camera in the rear portion of a car body, and disposing a mirror for reflecting a dead angle range of the camera on the back of a cover for opening and closing an opening portion opposite to the camera.

CONSTITUTION: A rear confirming camera 3 is disposed above a bumper 2 in the interior of a rear armor surface in a car body 1. An opening portion 7 is formed on a rear armor surface of the car body corresponding to the rear confirming camera 3, and an opening and closing cover 4 is disposed on the opening portion 7. A mirror 5 is attached to the back of the cover 4 in such a manner as to position within the field of view of the rear confirming camera 3. When a vehicle is moved backward, the cover 4 is opened to take a picture of the circumstances in the rear of the vehicle by the rear confirming camera 3 through the opening portion 7. At this time, the cover 4 is moored in the field of view of the rear confirming camera 3 to take a photograph of the dead angle range E through the mirror 5 instead of an unneeded range D above the horizontal line T.

COPYRIGHT: (C)1991, JPO& Japio

⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

平3-266740

@Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成3年(1991)11月27日

B 60 R 1/00 G 03 B 15/00

Z

7812-3D 7542-2K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

❷発明の名称 車載用後方確認カメラ

②特 頤 平2-65840

之

②出 願 平2(1990)3月16日

@発明者 小祝

秀明

神奈川県横浜市磯子区新杉田町8 株式会社東芝横浜事業

所家電技術研究所内

@発明者 笠見 寛

東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝オーデイオ・ビデオ

エンジニアリング株式会社内

⑪出 颇 人 株 式 会 社 東 芝

⑪出 願 人 東芝オーディオ・ビデ

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地東京都港区新橋3丁目3番9号

オエンジニアリング株

式会社

個代 理 人 弁理士 須山 佐一

BII BII PE

1. 発明の名称

重載用後方確認カメラ

2. 特許請求の範囲

車両の周りの状態を映し出す確認カメラを、 車両の外製面の内側に設け、前記車両の外装面に は開口部を設け、かつ該開口部には開閉可能なカ バーを設けると共に、前記カバーの裏面に、前記 後方確認カメラの視野内に位置し、後方確認カメ ラの死角を映す鏡を設けたことを特徴とする車載 用後方確認カメラ。

3. 発明の詳期な説明

(発明の目的)

(産業上の利用分野)

本発明は、車両後方を映し出してモニクに表示する車載用後方確認カメラに関する。

(従来の技術)

従来、自動車には後方量認のためにビデオカ メラを取付けたものがある。

第6 図は、この柱の従来の後方確認カメラ20

を乗用セグン車の後部に取付けた状態を示す説明図である。第6図において、後方根認カメラ20は車両の周りの状態を撮影し、第7図に示すように連転席にいる運転者が視認できる位置に設けたモニタ21で映像を表示する。

後方確認カメラ20の取付方法には、第8回に 示すように後方確認カメラ20が単両ボディ22 の外装面より外側に突出しないように取付ける方 法がある。これは、走行中における単両後方での 気流の乱れを防ぐために有効である。気流が乱れ ると走行時の負荷となり、燃費等に大きく係わる。 しかし、このような取付け方法では、後退時の安 全確認に必要な視界を十分確保に確保できない。 すなわち、第8回に示すようにバンバー23の確 近下部の範囲Aが死角となってしまう。

次に、第9図に示すように後方確認カメラ20を東南ボディ22から突出させて取付ける方法をとれば、第8図の範囲Aの確認が可能となる。しかし、後方確認カメラ20が東南ボディ22より外側に常時飛出しているので、走行時の負担とな

り 走行性能が劣化する しまた駐車時には盗難の危 険か生じる。

(発明が解決しようとする課題)

上述したように、従来の後方確認カメラ20 をパンパー23内に格納した状態で取付ける構造 ・ では安全確認のために必要な視界が確保できない

徴とする。

(作用)

本発明では、このような構成となっているので、カメラの世界の一部にカバー裏面の鏡で面が終われるようにカバーを間接のになって、後退時に重なるの映像を直接的に撮影することができる。また、カバーを閉じることで行うの気流を乱すった。 駐車中の盗難も防ぐことができる。 ないのの上、防水性の向上が図られる。

(実施例)

以下、本発明の実施例について図面を参照して詳細に説明する。

第 1 図は本発明の一実施例を示し、後方確認カメラを乗用セグン車の後部ボディーに取付けた例を示している。

図において、1は車両ボディー、2はバンバー、 3は後方確認カメラ、4はカバー、5は鏡である。 カバー4は、ヒンジ機構6によって車両ボディ1 し、後方確認カメラ20をバンパー23から外側に突出させた構造では走行時の気流の乱れや盗髪のおそれが生じるという問題があった。また、そのような問題を解決すべく後方確認カメラ20の突出格が見住とした構造でも、後方確認カメラ20の移動機構や防水機構等が必要となり、非常に構造が複雑になるという問題を抱えている。

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたもので、 視界を十分確保できかつ走行性能の劣化や盗難を 防止できると共に、構造が簡単に済む車載用後方 確認カメラを提供することを目的とする。

[発明の構成]

(課題を解決するための手段)

上記従来の目的を達成する本発明の重数用後方確認カメラは、車両の段りの状態を映し出す確認カメラを、車両の外装面の内側に設け、前記配両の外装面には開口部を設け、かつ該開口部には開閉可能なカバーを設けると共に、前記後方確認カメラの視野内に位置し、後方確認カメラの死角を映す鏡を設けたことを特

に回動可能に取付けられている。通常の走行状態では、カバー4は第2図に示すように重両ボディ 1 とほぼ面ーとなり、空気の流れを乱さない。また、駐車時はカバー4によって盗難防止が図られる。

第3図は、第1図の後方確認カメラ3によって 撮影した映像を第7図に示すモニタ21に表示し た場合を表わしている。画面上の中央に引かれた

35周平3-266740(3)

様々より下部トが後方確認のメラヨにより直接扱助した映像、また上部(は扱うによって第2回の範囲を提彫した映像である。このように競写を別いることで、後方確認のメラヨを選りたままで乗びることができる。 内部とに固定したままで乗びまることができる。 内部とに固定したままで乗びまることができる。 10回に示す位置でなびなかメラヨを設定に向上では、方は違いないのののののののではいか、ないのできるののではないでは、たい、たっクミラーによる後方確認に関れた運転を映した、バックミラーによる後方確認に関れた運転を映しましても対応できるようになっている。また、は対しても対応できるようになっている。またはは、に対しても対応できるようになっている。また、は対しても対応できるとのの上が防水性の向上が防水性の向上が防水性の向上、防水性の向上、防水性の向上が防水性の向上、防水性の向上、防水性の向上が防水性の向上、防水性の向上が防水

第4図と第5図に他の実施例を示す。

この 実総例では、カバー4 は任意の角度に移動可能に なっており、各角度に対応して後方確認カメラ 3 の統5の先端に映る地面 3 0 上の距離を予め求めておき、その値を第5 図のモニター画面の

カメラによる扱影状態を示す側面図、第2図は後方確認カメラを車両ボディ内に収納した状態の側面図、第3図は本発明によるモニタ表示内容を示す図、第4図(a),(b)は本発明の他の実施例を示す側面図、第5図(a),(b)はそれぞれが、第6図は従来の後方確認のカメラの接載例を示した斜視図、第7図は後方で確認のメラで撮影した映像を見るためのモニタを示した斜視図、第8図から第10図はそれぞれ従来の後方確認カメラの設置例を示す側面図である。

1 … 車両ボディ、2 … バンバー、3 … 後方確認 カメラ、4 … カバー、5 … 額、6 … ヒンジ機構、 7 … 開口部、8 … 車両ボディ内部、20 … 後方確 認カメラ、21 … モニタ、22 … 車両ボディ、2 3 … バンバー、24 … 車両ボディ内部、25 … 開 口部、26 … カバー、30 … 地面。 一部に示すように表示させる。ここで、カバー4の間をが小さい状態では、第4回(a)に示すように、バンバー2から50cm後方の範囲が映し出され、カバー4の間をが大きい状態では、第4回(b)に示すように90cm後方の範囲が映し出される。そして、それぞれカバー4の角度に対応する地面30までの距離が第5回(a)。(b)に示すようにモニター面面に表わされる。

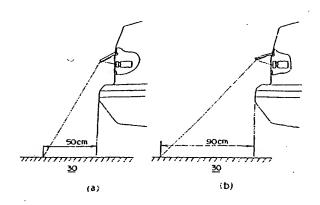
(発明の効果)

以上説明したように本発明の軍載用後方報認力メラによれば、後方確認カメラをボディー内部に 固定したままで、バンバー近傍直下を撮影することが可能となり、後退時の視界を十分確保できる。

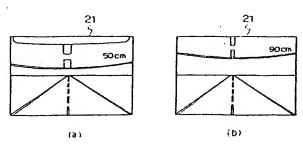
またカバーを閉じることで走行時の気流を乱すこともなく、駐車中の盗難も妨ぐことができる。 さらに、可動部が少ないことで構造が開略化され、 信頼性の向上、防水性の向上が図られる。

4. 図面の簡単な説明

第1四は本発明の一実施例にかかる後方確認

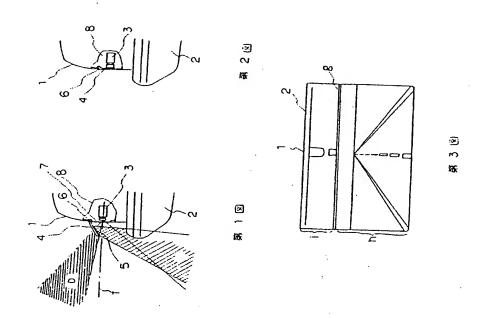


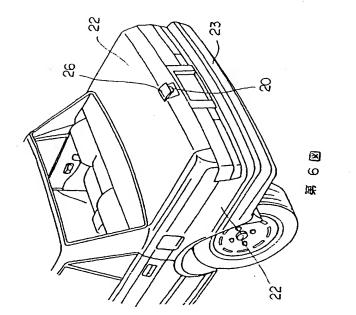
第 4 ②

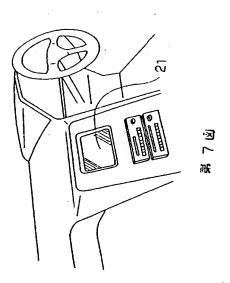


第5回

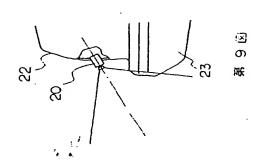
特開平3-266740(4)

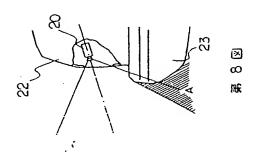


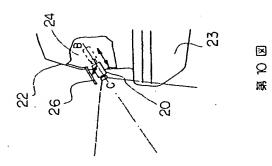




特閒平3-266740(5)







THIS PAGE BLANK (USPTO)